

# N 日本史問題

## 注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文1～4を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 日本に仏教が伝わったのは欽明天皇の時代で、百済の（イ）が經典や仏像をヤマト政権に送ったことをもって公伝とされている。そして、6世紀後半から7世紀前半にかけて、わが国初の仏教文化が花開いた。この頃、仏教を信じる豪族は、古墳にかわって各地に氏寺<sup>1)</sup>を建て、それは後に権威の象徴となっていった。聖徳太子（厩戸皇子）の願いでつくられたとされる斑鳩の法隆寺も、この時代の代表的な寺院である。

だがこの時代、仏教は一族の繁栄や病気の回復などをもたらす呪術的なものと考えられ、その思想はまだ十分に理解されていなかった。そのようななか、聖徳太子は仏教の思想を深く学び、法華・勝鬘・維摩の3つの經典の注釈書である『くあ』を著したと伝えられている。

7世紀後半から8世紀初頭にかけては、初唐文化の影響を受けた新たな仏教文化がおこった。（ロ）によって大官大寺や薬師寺などの大寺院が官寺としてつくりはじめられたように、仏教興隆は国家的に推進された。地方豪族も競って寺院を建立したのでこの時期に仏教は急速に広まり、また經典や注釈を集大成したくい>が中国からもたらされて經典の書写や研究も行われた。

2. 奈良時代には、仏教は國家の保護を受けてさらに発展した。とくに仏教によって國家の安定をはかるというくう>國家の思想は、この時代の仏教の特徴を示している。政府は平城京内外に大寺院を建て、（ハ）は国分寺建立の詔や大仏造立の詔を出した。僧侶はこれらの寺において仏教教理を研究し、南都六宗<sup>2)</sup>と呼ばれる学系が形成された。仏教の発展は、遣唐使に従って留学した僧たちの努力<sup>2)</sup>に支えられてきたが、唐から日本に渡来して戒律を伝え、くえ>寺を開いた鑑真ら、外国の僧侶の活動に負うところも大きかった。

一方、民衆と仏教との接点はまだ小さかったが、藤原不比等の娘であるくお>は仏教の慈悲の思想から悲田院・施薬院を設けて貧窮民の救済にあたり、また行基<sup>3)</sup>のように、灌漑・交通施設の建設などさまざまな社会事業を通じて、仏教の教えを<sup>3)</sup>広めようとする僧侶もいた。

3. 平安時代になると、唐で学んだ最澄と空海が新しい仏教の教えを伝えた。天台宗を伝えた最澄は、仏になれる性質（仏性）はすべての人間が平等にもっていると言き、東大寺から自立したくか>戒壇の設立を求めた。これは南都諸宗から激しい反対を受け

ることになったが、最澄は『くき』を著して反論した。彼の没後、くか戒壇の設立は勅許され、彼が開いた草庵にはじまる比叡山延暦寺は仏教教学の中心となっていた。

真言宗を伝えた空海は、高野山に金剛峰寺を開き、(二)から賜った平安京の教王護国寺を中心<sup>4)</sup>に活動した。そして、加持祈禱により現世利益が得られるとする密教<sup>5)</sup>を説いた。天台宗も最澄ののち、入唐した弟子の円仁・円珍によって本格的に密教が取り入れられた。

また、天台宗・真言宗では、南都仏教とは違って山岳の地に伽藍を営み、山中を修業の場としたため山岳信仰と結びついてくく道がおこるとともに、土俗的な信仰との融合が進み神仏習合の考えがいつそう強まった。そのため、神前で読経したり、僧侶の姿をした八幡神像がつくられるなど、神は仏の権現だとするくけ説が唱えられた。

10世紀頃からは末法思想が流行し、阿弥陀仏の救いにより来世の幸福を説く信仰が広まった。とくに空也は、庶民に念仏を広めた。さらに天台宗の僧源信(恵心僧都)が『くこ』<sup>6)</sup>を著すと、この信仰は貴族をはじめ庶民のあいだにも広まった。

4. 平安時代の末から鎌倉時代にかけては戦乱が相次ぎ、平氏の盛衰など世の移り変わりを目の当たりにした人びとは、ますます末法到来の思いを深め、宗教に救いを求める気持ち強くした。人びとの願いにこたえ、これまでのような戒律や修行、学問を中心とした仏教にかわって、内面的な深まりを重視しつつ広い階層を対象としていく鎌倉仏教がおこった。

その最初に登場したのが法然で、彼は身分・性別にかかわらず、阿弥陀仏を信じ一心に念仏(南無阿弥陀仏)を唱えれば極楽往生できると教え、武士や民衆の心をとらえてくき宗の開祖と仰がれた。法然の弟子の親鸞は法然の教えをさらに徹底させ、どんな煩惱の深い悪人であっても、阿弥陀仏を信ずる心をおこしさえすれば往生できるとする悪人正機<sup>7)</sup>を説いた。その教えは、農民らの支持を得て、(ホ)を中心寺院とする宗派を形成していった。遊行上人と呼ばれた一遍は、諸国を遊行しながらすべての人びとが救われると説き、踊念仏を通じて多くの民衆に教えを広めた。安房に生まれ、漁民の子と自称した日蓮は、題目(南無妙法蓮華經)を唱えることで救われると説き、関東の中・下層武士や商工業者から支持を得た。

関東で武士の間に大きな勢力をもっていたのは、座禅によって儒りの境地をめざす禅宗であった。宋にわたって禅をおさめた栄西は、公家や幕府有力者の帰依を受けて、

< し >宗を広めた。幕府との結びつきを強めた禅宗のなかで、道元は権力に近づくことなく、山中にこもってただひたすら座禅に徹し、のちに（へ）などを中心寺院とする宗派の祖とされた。

A. 文中の空所(イ)～(へ)にあてはまる適当な語句を、それぞれに対応する a～d から 1 つずつ選び、その記号をマークせよ。

- |     |         |         |         |         |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| (イ) | a. 好太王  | b. 聖明王  | c. 弓月君  | d. 壬仁   |
| (ロ) | a. 孝徳天皇 | b. 斉明天皇 | c. 推古天皇 | d. 天武天皇 |
| (ハ) | a. 称徳天皇 | b. 聖武天皇 | c. 舒明天皇 | d. 天智天皇 |
| (ニ) | a. 桓武天皇 | b. 嵯峨天皇 | c. 淳和天皇 | d. 文徳天皇 |
| (ホ) | a. 久遠寺  | b. 清浄光寺 | c. 知恩院  | d. 本願寺  |
| (へ) | a. 永平寺  | b. 建仁寺  | c. 高山寺  | d. 泉涌寺  |

B. 文中の空所<あ>～<し>それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～7)にそれぞれ対応する次の問 1～7 に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 広隆寺は蘇我馬子が太秦に建てた氏寺で、半跏思惟像で有名である
- b. 秦河勝が建立した飛鳥寺は、仏教の最初の寺院として特別な扱いを受けた
- c. 山田寺は蘇我倉山田石川麻呂が創建した氏寺で、その薬師三尊像の頭部は興福寺に現存する
- d. 和氣氏は物部守屋との戦いで撰津の四天王に祈り、四天王寺を創建した

2. これの 1 つで、鎌倉時代に明恵（高弁）という高僧を輩出したのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 俱舎宗
- b. 華嚴宗
- c. 三論宗
- d. 法相宗

3. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 五経に通じていて、絵の具・紙・墨の製法をもたらし、<sup>みずうす</sup> 碾磑をつくった
- b. 政府の禁令に背いて民間で布教したため弾圧されたが、のちに登用されて東大寺大仏の造立に協力した
- c. 貧民や難病で苦しんでいる人びとのために北山十八間戸を建てて救済事業を行ない、さらに関東で布教につとめた
- d. 林邑楽を伝え、東大寺大仏開眼供養会で雅楽師を務め、大安寺に住んだ

4. この人物が、庶民に対して学問の門戸を開くために設置した学校の名をしるせ。

5. これが重んじる大日如来の知徳をあらわす金剛界と、同じく慈悲をあらわす胎藏界の仏教世界を構図化したものを総称して何と呼ぶか。漢字 3 字でしるせ。

6. この人物について、念仏の功德を庶民層へ布教したことをもって、何と呼ばれたか。漢字 2 字でしるせ。

7. 次の文は親鸞の弟子唯円が親鸞の教えをまとめた『歎異抄』からの抜粋である（一部省略および表記を改めている）。文中の空所（ ）にあてはまる適切な語句をしるせ。

「善人なをもちて往生をとぐ、いはんや悪人をや。しかるを、世のひとつねにはかく、『悪人なを往生す、いかにいはんや善人をや』と。……煩惱具足のわれらは、いづれの行にても生死をはなるゝことあるべからざるを哀たまひて、願ををこしたまふ本意、悪人成仏のためなれば、（ ）をたのみたてまつる悪人、もとも往生の正因なり。よりて善人だにこそ往生すれ、まして悪人は」と仰さふらひき。

II. 次の文1～6を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 14世紀末、(イ)にかわって成立した朝鮮王朝は、倭寇を禁圧できる幕府や大名たちとの間に使節を往来させ、交渉を持った。15世紀初頭に沈静化していた倭寇が、再び朝鮮半島に侵入する事態が起こった時、朝鮮王朝は倭寇の根拠地と目される対馬に軍を派遣し攻撃した。これが1419年に起こった(ロ)である。この戦後処理のために、朝鮮使節として派遣された宋希環は、道中で見聞したことを紀行詩文集として書き残した。その『老松堂日本行録』によれば、宋希環一行は、富山浦から船に乗り、対馬、壱岐、博多などを経て、瀬戸内海を通り、京都に至っている。京都では室町幕府の第4代將軍足利義持との接見を果たした。『老松堂日本行録』では、各地での禅僧などとの交流や立ち寄ったところの様子も記されており、阿麻沙只村(摂津国尼崎)については「秋に畚を耕して大小麦を種き、<sup>2)</sup> 明年初夏に大小麦を刈りて苗種を種き、<sup>3)</sup> 秋初に稲を刈りて木麦を種き、<sup>4)</sup> 冬初に木麦を刈りて大小麦を種く」としるされている。

2. 16世紀半ば、イエズス会の日本でのキリスト教布教がはじまり、宣教師たちは日本での布教活動を他の宣教師たちに書簡で伝えたり、イエズス会に報告したりした。例えば、『イエズス会日本年報』におさめられた1581年の布教に関する報告は、日本で「ビジタドール(巡察師)」として活躍していた(ハ)が離日するに際して、ローマ教皇らへの遣使として日本の少年4人を同行することになったことを伝えている。これは(ハ)がキリシタン大名たちにすすめて、1582年に長崎から出発した天正遣欧使節のことである。同じ報告の中には、「本年日本に在るキリシタンの数は、ビジタドールの得た報告によれば十五万人内外」であると記され、キリシタンの中には、豊後の「キリシタンの王」のほかにも、「高貴な人で親戚及び家臣と共にキリシタンとな<sup>4)</sup>った者が多数ある」との記載が見られる。

3. 江戸時代、対外関係は「4つの口」で幕府の統制下に置かれることになった。琉球使節、朝鮮使節が派遣され、オランダ商館長の江戸参府も行われた。

江戸時代に入ってからの朝鮮使節の来朝は12回を数える。18世紀前半、申維翰は、徳川吉宗の將軍襲職祝賀の朝鮮通信使一行に製述官として加わった。この時の記録は『海游録』として残されており、対馬と江戸を往復する間には、後に『交隣提醒』を著すことになる対馬藩の儒者(ニ)も同行したことがわかる。

オランダ商館の医師であったシーボルトは、医学塾である(ホ)を開いた。ここ

には、シーボルトから多くの知識を吸収しようと日本人の弟子たちが集まってくるとともに、シーボルトも、そこで彼らからさまざまな情報の提供を受けることとなった。シーボルトは、1826年のオランダ商館長の江戸参府に同行したが、江戸では、多数の学者や幕府の医師らがシーボルトを訪ねた。その時の記録には、来訪者の一人である最上徳内<sup>6)</sup>がシーボルトに、「絶対に秘密を厳守するという約束で、蝦夷の海と樺太島の略図が描いてある二枚の画布」を貸したことも触れられている（『江戸参府紀行』）。

4. 漂流船ではない異国船の日本への接近は、18世紀末、ロシア船の北方からの接近に始まっていたが、1840年代以降になると、欧米列強の日本への働きかけはさらに強いものとなり、通商や薪水の補給を目的に開港を求める外国使節を乗せた軍艦が来るようになった。幕府はさまざまな海防策で異国船への対応をはかる一方で、幕府の方針や対応への批判を厳しく取り締まり、『戊戌夢物語』を著した（ヘ）らが処罰される蛮社の獄も起こった。

欧米列強との和親条約締結後、イギリスからはオールコックが来日し、総領事、のちに公使として通商条約締結の任務にあたった。安政の五カ国条約の締結をきっかけに、幕府と朝廷の間で条約勅許問題が起こり、尊王攘夷の動きも激しくなった。高輪の（ト）のイギリス仮公使館が襲撃をうける（ト）事件が起こり、オールコックもかろうじて難を逃れている。オールコックは『大君の部』の著者でもあるが、オールコックの駐日公使在任時に「大君」、すなわち将軍だったのは（チ）である。将軍在任時に和宮を夫人として迎えた（チ）は、攘夷の動きと列強の強い要望の間で対応が揺れ動いていたが、四国連合艦隊の下関砲撃を主導して成功させたオールコックから、条約勅許を推進するよう<sup>8)</sup>に強く迫られることとなった。

5. 明治時代に入ると、殖産興業の指導にあたる技師や、欧米の学問研究を教授する教師となる外国人も多くあらわれた。大森貝塚を発掘し、『日本その日その日』の著者である（リ）も、東京大学で御雇外国人として活躍した。陸軍士官学校の画学教師などをつとめたビゴーは、日本の社会状況や事件を諷刺画として発表したことで知られている。例えば『トバエ』に掲載された諷刺画の1つでは、保安条例公布・施行で民権派弾圧を指揮した内務大臣（ヌ）と警視總監三島通庸が揶揄されている。保安条例によって、ビゴーの友人であった中江兆民<sup>9)</sup>も東京から追放された。のち、（ヌ）は自身が首相の時に、治安警察法公布も実現させている。ベルツは、東京医学校の教師として1876年に来日して以来、一時帰国をはさみながら、30年弱を日本で生活した。彼の残し

た日記には、医学教育に取り組みつつ、医師としての診療をきっかけに、伊藤博文ら当時の政界の指導者たちと交流する様子もうかがえる。さらに日清戦争や日露戦争<sup>10)</sup>についても、ベルツの見聞した事柄や報道が書き留められており、日露戦争に際しては、傷病兵の長い列を目撃したことや、「平時よりも三倍の新兵が徴集された」(『ベルツの日記』)との記述も見える。

6. アメリカの特命全権大使としてグルーが来日したのは1932年6月であり、その直前の5月には(ル)首相が暗殺される事件が起こっている。グルーは、日米開戦までの約10年間、対日外交交渉にあたるとともに、日本の激動の時代を目の当たりにすることとなった。グルーの在任中の記録には、例えば1937年1月1日の条に、1936年12月31日をもって1922年調印のワシントン海軍軍縮条約と1930年調印の(ヲ)海軍軍縮条約が失効し、「これによって日本は、世界の重要海軍国と無条件に対決する新年を迎えたのである」(『滞日十年』)と書かれている。すでに中国での軍事行動や支配を拡大していた日本であるが、1937年7月には、日中全面戦争<sup>12)</sup>に突入し、日米関係も急速に緊迫の度を増していくことになった。グルーは、日本社会が極端論と穏健論の間に揺れているという見方を示すとともに、吉田茂<sup>13)</sup>など当時の穏健派との交流・情報交換を重視していた。このグルーの見方や在任当時につくられたつながりは、敗戦後の日本に対するアメリカの政策にも大きく影響を及ぼしたといわれている。

A. 文中の空所(イ)～(ヲ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～13)にそれぞれ対応する次の問1～13)に答えよ。

- これに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - 『魏志』倭人伝などに「一大国」あるいは「一支国」として登場する
  - 11世紀前半に沿海州地方の女真人(刀伊)の来襲を受けた
  - 承久の乱で敗北した後鳥羽上皇が配流された
  - 文永の役の際に元の来襲を受けた



2. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. この人物が将軍となる際に、嘉吉の徳政一揆（土一揆）が起こった
  - b. この人物が将軍の時に、中先代の乱が起こった
  - c. この人物が将軍の時に、南北朝の合体が実現した
  - d. この人物が将軍の時に、日明貿易が一時中断された
3. このような耕作形態を何と呼ぶか。漢字 3 字でしるせ。
4. この人物は誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 有馬晴信      b. 大友宗継      c. 大村純忠      d. 高山右近
5. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 12回のうち、4 回目の使節から通商使と呼ばれるようになった
  - b. 申維翰『海游録』に記録された使節の時に、新井白石による待遇簡素化が行われた
  - c. 1850年に江戸で国書をとりかわした使節が12回目の使節となった
  - d. 1607年に訪日した使節が幕府との間で巴邑約条を結んだ
6. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 近藤重蔵らと蝦夷地調査を行い、択捉島に渡った
  - b. 『三国通覧図説』を著して、蝦夷地開拓の必要性を説いた
  - c. 仙台藩の医師で、『赤蝦夷風説考』を著し、幕府の蝦夷地調査のきっかけをつくった
  - d. 幕府が蝦夷地全域を直轄地とした翌年に、樺太の調査を行った
7. これに関する出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. オランダ国王が幕府に親書を送って開国勧告を行った
  - b. ビッドルが浦賀に来航し、通商を要求した
  - c. プチャーチンが長崎に初めて来航し、開国と国境画定の交渉を要求した
  - d. ベリーが再来日し、日米和親条約が結ばれた
8. これに含まれない国はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ      b. オランダ      c. フランス      d. ロシア

9. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 岩倉使節団とともに出発してフランスに留学した
  - b. 開成所の教官をつとめた後、明六社の創設メンバーとなった
  - c. 『人権新説』を刊行して天賦人権論を擁護した
  - d. 「東洋大日本国国憲按」を作成した
10. この人物が首相在任中の出来事はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 尾崎行雄がいわゆる共和演説事件で文部大臣を辞任した
  - b. 韓国に統監府が設置された
  - c. 第 1 回帝国議会（第 1 議会）が開かれた
  - d. 帝国大学令が公布された
11. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. この講和条約調印に反対した国民大会がきっかけで、日比谷焼打ち事件が起こった
  - b. この最中に帝国在郷軍人会が創立されて、戦時動員体制が整備された
  - c. この最中に鉄道国有法が公布されて、鉄道輸送機能の向上がはかられた
  - d. この勃発のきっかけとなったのは、ニコラエフスク（尼港）事件である
12. これに関する出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 冀東防共自治委員会の成立
  - b. 第 1 次山東出兵
  - c. 第 1 次上海事変
  - d. 張作霖爆殺事件
13. この人物が首相在任中の出来事はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 警察予備隊が新設された
  - b. 五大改革指令が出された
  - c. 国交のない中華人民共和国との間で LT 貿易の取決めが結ばれた
  - d. 日米相互協力及び安全保障条約が調印された

【以下余白】

